



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 オープングループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6572 U R L <https://open-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 T E L 03 (6778) 7588
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	5,905	12.0	705	110.7	706	—	527	299.4

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 540百万円 (283.9%) 2025年2月期第3四半期 140百万円 (△50.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 9.03	円 銭 8.86
2025年2月期第3四半期	2.17	2.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円 19,490	百万円 10,684	% 54.8
2025年2月期	19,967	11,982	60.0

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 10,672百万円 2025年2月期 11,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.50	円 銭 5.50
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,500	17.7	960	46.9	860	266.4	516	8.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) OASIS INNOVATION株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	62,549,000株	2025年2月期	62,549,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	6,716,458株	2025年2月期	2,166,104株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	58,361,866株	2025年2月期 3Q	60,876,450株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復により緩やかな回復基調が見られはじめましたが、地政学リスクの長期化や米国関税政策による世界景気の下振れの影響が懸念されるなど、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「RoboRobo」、「Presco（プレスコ）」とともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」のプロダクト開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,905百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は705百万円（前年同四半期比110.7%増）、経常利益は706百万円（前年同四半期は23百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は527百万円（前年同四半期比299.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

インテリジェントオートメーション事業

インテリジェントオートメーション事業においては、「BizRobo!」、「AUTORO」、「RoboRobo」とともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。引き続き「RoboRobo」のプロダクト開発を中心とした先行投資は継続しましたが、ライセンス収入の伸長、コストコントロールの強化により利益率は改善しました。

その結果、インテリジェントオートメーション事業では、売上高は4,099百万円（前年同四半期比17.6%増）、セグメント利益（営業利益）は664百万円（前年同四半期比123.6%増）となりました。

アドオートメーション事業

アドオートメーション事業においては、主力の人材カテゴリが伸長しました。一方で、業績のボラティリティを高めていた案件の事業整理を進めたことにより減収となりました。取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率が一部改善したことと、コストコントロールの強化を進めたことで利益率が改善し、増益となりました。

その結果、アドオートメーション事業では、売上高は958百万円（前年同四半期比14.4%減）、セグメント利益（営業利益）は490百万円（前年同四半期比27.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,095百万円減少いたしました。これは主にその他の流動資産が743百万円増加した一方で、預け金が1,600百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ619百万円増加いたしました。これは主にのれんが387百万円、及び、投資その他の資産のその他が276百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,490百万円となり、前連結会計年度末に比べ476百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ408百万円増加いたしました。これは主に買掛金が240百万円減少した一方で、その他の流動負債が494百万円、契約負債が122百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ413百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が742百万円増加した一方で、社債が350百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ822百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,684百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,298百万円減少いたしました。これは主に自己株式を取得したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.8%（前連結会計年度末は60.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	10,510,244	10,430,429
売掛金	2,488,758	2,290,993
仕掛品	14,770	54,578
預け金	1,786,038	185,160
その他	780,071	1,523,420
貸倒引当金	△2,021	△2,393
流动資産合計	15,577,862	14,482,188
固定資産		
有形固定資産	167,653	189,698
無形固定資産		
のれん	942,346	1,329,658
ソフトウエア	480,388	395,822
ソフトウエア仮勘定	153,651	205,326
その他	72	72
無形固定資産合計	1,576,459	1,930,879
投資その他の資産		
投資有価証券	1,746,585	1,712,357
その他	898,712	1,175,558
投資その他の資産合計	2,645,298	2,887,916
固定資産合計	4,389,410	5,008,494
資産合計	19,967,272	19,490,682
負債の部		
流动負債		
買掛金	1,942,371	1,702,016
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	394,000	372,000
1年内返済予定の長期借入金	396,915	351,500
未払法人税等	51,219	139,599
契約負債	1,175,532	1,297,901
賞与引当金	132,341	112,917
変動報酬引当金	—	30,435
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,424	17,824
その他	368,999	863,578
流动負債合計	5,978,803	6,387,771
固定負債		
社債	1,190,000	840,000
長期借入金	797,873	1,539,991
役員退職慰労引当金	—	38,880
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,824	—
固定負債合計	2,005,697	2,418,871
負債合計	7,984,500	8,806,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,926,160	5,926,160
資本剰余金	6,071,957	6,058,614
利益剰余金	647,351	842,273
自己株式	△678,737	△2,177,046
株主資本合計	11,966,732	10,650,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,502	22,988
その他の包括利益累計額合計	11,502	22,988
新株予約権	4,460	4,460
非支配株主持分	76	6,587
純資産合計	11,982,772	10,684,039
負債純資産合計	19,967,272	19,490,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	5,274,739	5,905,866
売上原価	1,941,412	1,843,552
売上総利益	3,333,326	4,062,313
販売費及び一般管理費	2,998,693	3,357,298
営業利益	334,633	705,014
営業外収益		
受取利息	4,953	8,269
受取保険金	11,521	—
為替差益	—	474
受取手数料	3,989	105,214
その他	4,874	4,697
営業外収益合計	25,339	118,655
営業外費用		
支払利息	11,858	27,832
支払手数料	14,152	20,011
社債発行費	10,789	—
為替差損	2,963	—
投資事業組合運用損	40,302	44,057
持分法による投資損失	298,079	21,209
その他	5,421	4,485
営業外費用合計	383,567	117,597
経常利益又は経常損失(△)	△23,594	706,072
特別損失		
投資有価証券評価損	13,999	41,156
本社移転費用	83,609	—
特別損失合計	97,609	41,156
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△121,204	664,915
法人税等	△247,133	135,634
四半期純利益	125,929	529,281
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,029	2,268
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,958	527,012

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	125,929	529,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,947	11,486
その他の包括利益合計	14,947	11,486
四半期包括利益	140,876	540,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,906	538,499
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,029	2,268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年1月14日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式4,858,600株の取得を行いました。この取得により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,592,799千円増加しております。

(自己株式の処分)

当社は、2025年2月28日開催の取締役会において第三者割当による自己株式の処分を決議し、当第3四半期連結累計期間に自己株式219,780株の処分を実施いたしました。

また、2025年5月28日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬、業績連動型株式報酬、及び株式報酬としての自己株式の処分を決議し、当第3四半期連結累計期間に自己株式88,517株の処分を実施いたしました。

これらの処分により、自己株式が94,505千円減少し、資本剰余金が9,100千円減少しております。

以上の結果等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,177,046千円、資本剰余金が6,058,614千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	260,252千円	235,287千円
のれんの償却額	44,477	97,366

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリジ ェントオー トメーショ ン事業	アドオー トメーシ ョン事業	計			
売上高 一時点で移転さ れる財又はサー ビス	552,124	1,120,040	1,672,164	668,159	—	2,340,324
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	2,934,414	—	2,934,414	—	—	2,934,414
顧客との契約か ら生じる収益	3,486,538	1,120,040	4,606,579	668,159	—	5,274,739
外部顧客への売 上高 セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,486,538	1,120,040	4,606,579	668,159	—	5,274,739
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,777	16,941	24,718	4,681	△29,399	—
計	3,494,316	1,136,981	4,631,297	672,840	△29,399	5,274,739
セグメント利益又 は損失(△)	297,257	384,555	681,812	△19,965	△327,213	334,633

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,213千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間において、オートロ株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「インテリジェントオートメーション事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、660,242千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
 (単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリジ ェントオー トメーショ ン事業	アドオー トメーシ ョン事業	計			
売上高 一時点で移転さ れる財又はサー ビス 一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	654,594 3,445,319	958,858 —	1,613,452 3,445,319	769,420 77,674	— —	2,382,872 3,522,993
顧客との契約か ら生じる収益	4,099,913	958,858	5,058,771	847,094	—	5,905,866
外部顧客への売 上高 セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,099,913 68,034	958,858 18,838	5,058,771 86,872	847,094 2,143	— △89,016	5,905,866 —
計	4,167,948	977,696	5,145,644	849,238	△89,016	5,905,866
セグメント利益又 は損失 (△)	664,742	490,810	1,155,552	△5,026	△445,511	705,014

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△445,511千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、OASIS INNOVATION株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「その他」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、437,861千円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。